

都市再生整備計画(指標目標値の設定根拠)

市町名	小牧市
地区名	小牧駅周辺地区

地区の目標

■大目標	小牧の玄関にふさわしい魅力あるまちづくり
□小目標	中心市街地にふさわしい賑わいあるまちづくり
	多様な機能が集積した交通結節点づくり
	災害に強い安全・安心なまちづくり

目標を定量化する指標

指標	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
①中心市街地の歩行者・自転車通行量	小牧駅周辺における歩行者・自転車通行量	中心市街地にふさわしいにぎわいある街づくりの達成状況を中心市街地の歩行者・自転車通行量の変化で評価する。	4,520人/12時間	5,420人/12時間
②巡回バス利用者数	計画区域内を通り名鉄小牧駅にアクセスする巡回バスの利用者数	多様な機能が集積した交通結節点づくりの達成状況を名鉄小牧駅にアクセスするこまき巡回バスの利用者数の変化で評価する。	299,807人/年	359,768人/年
③安全・安心満足度	市民意識調査における小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまちだと思ふ市民の割合	災害に強い安全・安心なまちづくりの達成状況を小牧市は安全・安心でいきいき暮らせるまちだと思ふ市民の割合の変化で評価する。	67.1%	70.9%

目標値の設定根拠

指標	根拠
①	基準年から目標年度における中心市街地の歩行者・自転車通行量の増加 ・本市では、都市機能の郊外へのスプロール化から中心市街地の空洞化が誘発され、都市としての求心力が低下しつつあるため、中心市街地への医療、教育文化といった都市機能の集積を進めることにより、中心市街地を訪れる人の増加を目指し、目標値を設定。
②	基準年から目標年度における巡回バスの利用者の増加 ・高齢化が進む中で、公共交通網の強化による自動車に依存しない歩いて暮らせるまちづくりが急務となっている。 市内の交通空白地の解消が求められるため、巡回バスのルート拡大による利用者の増加を目指し、目標値を設定。
③	市民意識調査における安全・安心満足度 ・東日本大震災以降、災害に強いまちづくり及び市民の災害に対する意識向上が求められている。 安全・安心な生活環境構築のための住民活動促進や土地区画整理事業の実施により、市民の満足度の向上を目指し、目標値を設定。